
ONE PIECE 輪廻を廻った者

きー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ONE PIECE 輪廻を廻った者

【Nコード】

N0015BA

【作者名】

きー

【あらすじ】

2011年年末

ある町に1人の少年が居た。

さかき たつき
榊 竜稀

彼は、何故か自分のモノではない記憶をいくつも持っていた。ある時は、平安時代の役人としての記憶、またある時は、戦国時代の大名家としての記憶を夢として見る事があるのだ。しかもまるで自分が体験した事のように感じるのだ。しかしその記憶のどれもが20代前半までの記憶で途切れてしまうのだ。竜稀は、そんな事を気にしな

がら平凡な生活を送るのだった。
しかし、そんなある日竜稀の生活が一変する。

世界を変える者

2011年年末

ある町に1人の少年が居た。

さかき たつき
榊 竜稀

彼は、何故か自分のモノではない記憶をいくつも持っていた。ある時は、平安時代の役人としての記憶、またある時は、戦国時代の大名家としての記憶を夢として見る事があるのだ。しかもまるで自分が体験した事のように感じるのだ。しかしその記憶のどれもが20代前半までの記憶で途切れてしまうのだ。竜稀は、そんな事を気にしなから平凡な生活を送るのだった。

2011年ももうすぐ終わろうとしているある日

？「ううううう 寒っ、めちゃくちゃ雪積もってんじゃん！！こりやさっさとONE PIECEの新刊買って帰るか。毎週ジャンプでも読んでるけどやっぱコミックスは、楽しみだな。魚人島篇も終盤だからなあ。いた楽しみだ。」

このONE PIECEファンがこの物語の主人公 さかき 榊 たつき 竜稀 である。

竜稀「よし、新刊買ったし、他に用事もないし帰るか。帰ったらさっそく読まなきゃな。つかここの信号相変わらず待ち時間なげえ」

Bannon

竜稀雪でスリップした車に轢かれてしまった。

竜稀「んん・・・ここどこだ？確かあの時・・・ん？！・・・はあ？！おいおい俺まさか轢かれたのか？まだ新刊読んでねえんだぞ。てか死因が雪でスリップした車に轢かれるってどんだけだよ。つうかここどこだよ？」

？「やっと起きたか。」

いきなり声が聞こえ、竜稀が振り返るとそこには真っ白な服を着た男が竜稀を見ていた。

竜稀「つつつつ？！びつつつつくりしたああああああ。てかあんた誰だ？いきなり後ろから話しかけんなよ！！つかいつたいここどこよ。俺は、生きてんのか？」

？「一から説明してやるからそう急いで話すな。まず俺は、俗に言う神だ。そしてお前は、死んでいる。」

神と名乗る男の話に納得できない竜稀は、さらに言葉をかける

竜稀「死んだならここは、どこだよ？マジ意味わかんねえ。つか神ってあんた頭大丈夫か？」

神「お前の存在消してやろうか？？その話は、おいといてまずしっかり俺の話を聞け！！いいか、お前は、確かに死んだ。ここは、生と死とは、切り離された狭間の世界だ。普通の者は、ここに来る事は、出来ない。」

竜稀「・・・・・・・・狭間の世界」

神の説明に何か考え込む竜稀そして考えをまとめ神に質問をする。

竜稀「・・・何で死んだのにここにいるんだ？」

神「お前にも心当たりは、あるはずだ。・・・お前、妙に臨場感のある記憶を見たことがあるだろ。」

神の言葉を聴き少しの間考える竜稀

竜稀「・・・・・・・・？！まさか、あの夢のことか？」

神「そうだ。お前が臨場感を感じたは、あの記憶は、実際にお前の魂が体験した記憶だ。」

神の言葉に驚く竜稀

竜稀「俺の・・・記憶？」

神「ああ。正確には、お前の魂に刻まれた記憶だ。本当は、人間が記憶を持ったまま転生する事は、出来ないはずなんだがお前の魂は、妙な術が掛かってて生まれ20代前半まで生きると強制的に寿命が終わる様になっていた。さらに死んだらまた記憶を持ったまま転生するようになっていた。そして今日何回目かわからぬ命が終わったのだ。」

神の言葉を聴き啞然とする竜稀

神「すまないと思っている。俺がもっと早くに気づいて対処すべきだった。本当にすまない。」

竜稀に対し深々と頭を下げ謝罪する神

竜稀「・・・まあ、俺は、寿命だったって事だろ。死んでどーこー言っただってどうにもなんないでしょ。」

神「許して・・・くれるのか？」

竜稀「今更考えてもどうにもなんないでしょ。てか死んだのになんてここにいんだ？」

神「さつきも説明したとおりお前の魂には、術がかけられていたと言ったよな。」

神の言葉に首をかしげながらうなづく竜稀

神「術は、解いたが犠牲になったお前には、新しい世界でやり直して欲しいと思ってここに呼んだんだ。」

竜稀は、神の言葉に目をキラキラさせながら神に質問を投げかける

竜稀「新しい世界ってまさか俗に言うトリップってやつか？」

いきなりテンションが上がった竜稀に戸惑う神

神「ま、まあそうなるな。」

竜稀「じゃあ俺が世界指定して良いんだよな。」

神「そういう事だな。もちろんその世界で生きていく為に必要な力

は、与えるつもりだ。」

神の言葉を聴いてさらにテンションが上がる竜稀

竜稀「じゃあ行く世界は、もちろんONE PIECEな！！んで能力は、まず悪魔の実な！実は、俺のオリジナルで動物系 神仏種 カミカミの実 モデル ポセイドン な！実の能力は、？海の神だからすべての水を操れる。？カナズチにならない。？水中を人魚と同等の速度で移動できる・息も出来る？飛行可能。次に六式。次に鷹の目のミホークと互角に戦える剣術の才能。次にフェアリーテイルの？雷竜？冥竜の滅竜魔法。次にNARUTOの写輪眼・万華鏡写輪眼・輪廻眼・白眼をノーリスクで使用可能！！まあこれだけかな」

竜稀の矢継ぎ早な注文とその注文の多さに言葉の出ない神

神「わ、わかったがそんなに必要か？」

竜稀「あつたりまえだろ！！無きやあの世界で生きていけねえよ！！」

ものすごい剣幕でまくし立てる竜稀

神「わ、わかった。では、向こうの世界でがんばれよ！！」

竜稀「ああ、なんかありがとな。」

神「では、行ってこい。」

そう言って神が指を鳴らすとそこに竜稀は、すでにいなかった。

う
う
う
う

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0015ba/>

ONE PIECE 輪廻を廻った者

2011年12月30日23時45分発行